



公民館
Instagram



FUJIMIMACHI_COMMUNITY_PLAZA

〒399-0211

長野県諏訪郡富士見町富士見 3597-1

コミュニティ・プラザ内 富士見町公民館

ホームページ：https://www.town.fujimi.lg.jp/site/kouminkan/

Eメール：kouminkan@town.fujimi.lg.jp

発行 富士見町公民館

編集 公民館報編集委員会

TEL 0266(62)7900

FAX 0266(62)7611

コミ・プラ マスコットキャラクター
「ホッホ君」

竹っておもしろい!



富士見高校文化祭での日月チームの様子



第58回富士見町総合文化祭展示祭

高原晴雨

東京にいる祖母が去年で95歳になった。

18歳で上京してから約11年間、わたしは東京の祖母の家で過ごした。うち9年は2人暮らしだった。最初は着ている服に口を出され、玄関から出してもらえなかったり、自室が勝手に片付けられていて喧嘩になった。わたし自身若かったこともあり、ぶつかってばかりだったが、数年経つと何でも話せる仲になっていった。祖母から聞いた話を母にふと話してみると、母さえ知らない事実が多くあることが分かった。祖母からは特に、生まれ育った松本に住んでいた時の話をたくさん聞いていた。保育園に通っていた頃のやんちゃ話、同じ小学校にいたクサマさんという植木屋さんの女の子が、今では世界的な画家になっている話など。時々、祖父との結婚を決めた時の話などのガールズトークにも花が咲いた。母はそういうことを一度も聞いたことがなく、目を丸くして驚いていた。祖母と孫の関係だからこそ、引き出せたのかも知れない。

そのうち数年かけて徐々に祖母は物覚えが悪くなり、何かが出来なくなっていくことにストレスを抱え、癩癩を起すことが多くなった。ある日、仕事を終えて帰宅すると、泥棒が入ったのかと疑うほど家中の物がひっくり返って荒れており、リビングの真ん中で泣いている祖母がうずくまっていた。間もなく、わたしは祖母の家を出ていくことになった。祖母が詐欺の被害に遭ったことが発端だった。日中も、祖母以外に家に人がいた方が安全ということで、叔父と叔母に生活してもらうことになった。祖母は、わたしが家を出ていく日も何が起こっているのかよく分かっていない様子だった。70代から90代にかけて、祖母が老いていく様子を見るのはなんとも言えない気持ちだったが、それ以上に本人が辛そうな様子をそばで見続けてきた。

今は息子を連れて、ひいおばあちゃんになった祖母の顔を見に、時々東京へ出かける。彼女の大好きなみずすずと、長野での土産話をたくさん持つて。祖母は、今は自身の老いを受け入れ、とても穏やかに過ごしている。御神渡りの写真が見たいと頼まれているので、今年こそ見られたらと思う。

揚妻 のはら

目次 P2~3 【特集】
P4 図書館・博物館コーナー

竹の玩具で遊ぼう！

富士見高校普通科の生徒が富士見てしごと組、子ども科学遊びクラブと共同で、竹製玩具の製作と普及に取り組んでいます。活動の様子を紹介します。

背景・経緯

富士見高校普通科では、探究学習の一環として「地域の課題の解決」を目的とした活動に取り組んでいます。生徒達が解決しようとしている課題は、竹の需要減少や地主の高齢化、人口減少等で増加している放置竹林問題と、猿を主とした農作物の野生鳥獣被害です。

放置竹林問題の解決には、竹の有効利用による需要の拡大が効果的であると考えられます。そこで、生徒達は「竹チップやパウダーによる土壌改良」「竹炭の肥料」に加えて、「竹で様々な玩具を開発・製作・普及」させる活動に取り組んでいます。

玩具作りでは、町内で物づくりをしているボランティア団体「富士見てしごと組」「子ども科学遊びクラブ」があり、共同で活動しています。高校では9名の生徒がチームとなって活動しています。また、3名の生徒が、製作し

た玩具を活用して「地域との交流」をする活動も進めています。

『富士見てしごと組』…腕に覚えのある町民が集い、富士見の特徴を活かしたクラフト品等を製作し、提供している団体

『子ども科学遊びクラブ』…子ども達に科学(物づくり)の楽しさを紹介する活動をしている団体。「手と脳に汗をかく知育玩具の開発・製作・普及」も推進中

開発・試作した竹製玩具

プラスチック、木、竹製の玩具類を参考にして、以下の分野の玩具を試作しました。

- ◎音の出る玩具…保育園児を対象とした「多数の鈴を取り付けた竹筒・スレイベル」「棒で竹筒を叩く・スリットドラム」「竹の笛」「細い針金で繋がっているので、エコーがかかる糸電話」「鈴が入っている竹筒・ガラガラ」等(写真①)
- ◎動く玩具…「ゴムを動力としたプルバックカー」「昔の玩具である糸車を竹で作ったゴム動力車」「民芸品としても紹介されている竹のコマ」「よく飛ぶ紙飛行機を飛ばす発射装置・カタパルト等(写真②)
- ◎知恵の輪…金属や木材で作られている難易度の異なる各種知恵の輪を竹製にした模造品(写真③)
- ◎伝統的な玩具…「昔は町内でも子ども達が遊んでいた竹べら」「紙製の球が飛ぶ空気鉄砲」「ゴム鉄砲」等(写真④)

◎竹の日月(にちげつ)…「けん玉風の玩具・日月」「子ども用の簡易日月類」等(写真⑤⑥)

◎知育玩具類…「回折格子フィルムとスリット光で作られる虹が見える竹筒」「浮き上がる絵を見る鏡筒」「7本に1本が「当たり」か「外れ」が出てくるおみくじ遊び」等

日月開発の経緯

現在のけん玉は「日月(にちげつ)ボール」と呼ばれて大正時代に日本で生まれ、急速に普及したと言われています。

一方、日月ボールを模したと思われる竹製の日月の歴史は良くわかりません。各地で独自の竹製日月が作られたようで、数種類の構造の日月が紹介されています。子ども科学遊びクラブでは、4年前に、ネット情報に基づいた構造の日月を試作し、子ども達に遊んでもらいましたが、十分に満足できる品質水準の遊び道具ではありませんでした。そこで、「操作性の向上」「軽量化」「安全性向上」「耐久性向上」を目指して開発に取り組み、現在の日月に到達しました(写真⑤)。また、日月の剣に刺す、乗せる等の基本技(写真⑥)をマスターするには、相当の練習が必要である事等から、保育園児でも比較的簡単に遊べる簡易型日月の開発に取り組み、重りを内蔵したピンポン

玉やデインプル加工した木球(白樺)を竹筒で受ける日月を製作しました。



伝統的な玩具 (写真④)



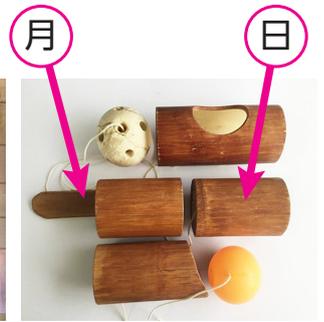
各種知恵の輪 (写真③)



動く玩具 (写真②)



音の出る玩具 (写真①)



日月と簡易版
(写真⑤)



日月の技
(日を引き上げて月で刺す)
(写真⑥)

高校生の玩具作りの一例として、日月製作の様子を写真⑦に示します。



日月の製作
(富士見高校日月チーム)
(写真⑦)

玩具の紹介と交流

玩具に対する子ども達の反応(評価や感想)を知るために、境小学校児童クラブ、原中学校科学クラブを訪問して玩具で遊んでもらい、交流しました。また、富士見パノラマリゾート、富士見町商店街、八ヶ岳中央農業実践大学院

でのイベントにも日月や知恵の輪等を紹介し、楽しんでもらいました。交流の様子を写真⑧⑨に示します。



原中学校との交流
(写真⑧)



富士見町ハロウィンイベント
(高校生とてしごと組)
(写真⑨)

竹製玩具は子ども達には目新しく、興味深いもののようにでした。全体としては「未就学児童は、音の出る玩具、動く玩具」「小学生は全ての玩具に興味を示し、想定外(ユニークな)の遊び方をする子どもがいる」「中学生は知恵の輪や紙飛行機飛ばし等の知育的な遊びに熱中する傾向がある」事が分り、玩具の開発・改良に向けた取り組みに大いに参考となりました。パノラマリゾートでのハロウィンイベントには外国人家族の参加もあり、知恵の輪と日月に熱中していました。

「初めての体験でとても楽しかった」と述べ、「日本人が物づくりに優れているのは、子ども達がこの種の遊びを楽しんでいるからだと思う」との感想も聞かれました。

高校生が活動の概要を県長寿社会開発センター諏訪支部主催の「地域づくり出合いのひろば」で紹介しました。社会参加活動を希望する多くのシニアの方々に好評でした。特に、日月には興味津々で、竹の感触を楽しみつつ遊ぶ姿が見られ「いいアイデア。素晴らしい」と称えられました(写真⑩)。また、富士見町の文化祭でも竹製玩具を展示し、手に取って遊んでもらいました。多くの来場者にとって、竹馬や缶馬(ぽっくり)はよく知られていますが、前述の竹製玩具類は目新しく、興味深いものであったようです。



地域づくり
出合いのひろばでの発表
(写真⑩)

日月の普及活動

日月の普及を目指して、日月の基本技を紹介する動画を作成し、インスタグラムに載せる準備を進めています。動画には、8種類の基本技が紹介されています。

今後の展開

竹製玩具は、多くの方々楽しんでもらえる大きな潜在能力を秘めており、今後も開発・製作・普及活動を進める予定です。特に、日月は、子どもから大人までが楽しめるユニークな玩具であり、富士見町で復活した手作り玩具として町内外に普及させていく予定です。

高校で本活動を指導している田中先生は次のように述べています。「地域の課題に取り組む活動は、富士見高校ならではの学習であり、地域の方々のご協力なしではできません。地域の課題に高校生の目線で向き合い、高校生の立場からできることがある、という気づきから生徒自ら取り組むことを大切にしていきます。今後は、富士見高校の活動を地域内外に発信し、広く知ってもらいながら、富士見高校の活動をきっかけとして、地域が気づき、富士見町全体の問題として一緒に取り組んでいくことができれば嬉しいです。」

おわりに

竹製玩具の製作と普及は、竹の有効利用に寄与するばかりではなく、地域の交流や活性化にも有益であると思われれます。特に、日月自体は、古くから知られている地方の玩具ですが、高校生の感性を取り入れた「富士見町発の復刻玩具」として普及する事を願っています。



南諏展 ～習字・図工～

期間：1月11日(土)～1月31日(金)

場所：富士見町高原のミュージアム(コミュニティ・プラザ2階)

町内小中学校・諏訪養護学校の児童・生徒の作品展です。

今回の展示は「習字・図工」です。お楽しみに!



図書館 博物館 コーナー

☎62-7930(図書館・博物館)

新着おすすめ Book

★電話・webまたはカウンターでご予約ください

小説『孤城春たり』 澤田 瞳子 著

備中松山藩にて藩校の学頭を務めるかたわら私塾を開き、弟子たちの指導に当たっていた学者・山田方谷は、借財10万両を抱える藩の財政を司る元締役とその補佐役である吟味役の兼務を命じられる。

様々な改革により、備中松山藩はわずか7年で借財を返済、さらに10万両の蓄財を作るまでになった。

だが幕末の激動の波は地方の小藩にも押し寄せてきて...

時代の波に揉まれながら懸命に生きる人びとを描いた、幕末群像劇。

図書館

■開館時間/通 常・・・午前9時30分～午後6時

火曜日・・・午前9時30分～午後7時

■URL <https://www.town.fujimi.lg.jp/site/library1/>

白抜き・・・休館日 ★印・・・イベント実施日 □・・・20冊貸出

	日	月	火	水	木	金	土
1月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
2月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	



富士見町図書館HP

おはなし会(火曜日)

- 1月 7日 お正月のおはなし 午前11時～
- 14日 休館日
- 21日 おはなしいろいろ
- 28日 せつぶん工作・誕生会

おはなし会(土曜日) 「ふじみ子どもの本の会」ほか

- 1月 4日 年末年始休館日 午前11時～
- 11日 へびのおはなし
- 18日 冬のおはなし
- 25日 英語のおはなし会

図書館イベント情報

●1月26日(日) 科学のとびら④ 「日本の遊びを楽しむ」

時 間：午前10時～11時45分

会 場：コミュニティ・プラザ 大会議室

対 象：親子15組

申 込：1月7日(火)午前9時30分より受け付けます。

電話または下記の二次元コードにてお申込みください。

参加料：無料

*親子、お友達と日本の伝統的な遊び
道具を使って自由に遊んでみませんか?

問合せ・申込：富士見町図書館 ☎62-7930



◀ 科学のとびら 申込みフォーム

- 場 所 富士見町高原のミュージアム(コミ・プラ2階)
- 開館時間 午前10時～午後5時(入館 午後4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土日祝の場合は開館)、12月28日～1月4日

- 入館料 大人 300円、子ども150円
諏訪地域の小中学生は無料

⇒右の招待券を切り取ってお持ちください。
町内1家族まで無料にてご覧いただけます。

博物館企画展
招待券